

新たな中学校給食の提供方式について

1 町田市学校給食問題協議会の答申について

「新たな中学校給食の提供方式について」

現在の「選択制・ランチボックス形式（弁当併用外注給食方式）」における課題を解決するため、2020年11月18日に「新たな中学校給食の提供方式」について諮問し、全5回の協議を経て、2021年1月20日に答申をいただきました。

【答申概要】

「新たな中学校給食の提供方式」の導入にあたっては、成長期である中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式を選択する必要がある。

新たな中学校給食の提供方式は

「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」で進めてほしい。

実施においては、次の事項に配慮して取組んでほしい。

- ・ 新たな提供方式ができる限り早期に実施されるよう努めること
- ・ 安全・安心な給食提供を行うこと
- ・ さらなる食育・地産地消に取り組むこと
- ・ 地域に喜ばれる施設になるような整備をすること
- ・ 学校の負担軽減ができるよう配慮すること

2 新たな中学校給食の提供方式について

町田市学校給食問題協議会の答申を踏まえ、成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供を早期に実現するため、町田市の新たな中学校給食の提供方式として、「全員給食・給食センター方式」を導入します。

【基本方針】

1 全員給食・食缶形式・給食センター方式の導入

成長期の中学生全員に安全・安心で、栄養バランスが整えられた「温かい給食」の提供を早期に実現します。

2 給食センターを災害対応や地域貢献に活用

炊き出し・備蓄などの災害対応や、地域に食の提供を行うなどの地域貢献を可能とする機能を備えます。

3 給食センターを市内に分散化して整備

配送可能範囲や地域貢献を考慮し、市内3箇所分散して整備します。

◆ 現行方式と新たな提供方式の比較

基本方針	現行方式	新たな提供方式
【1】 全員給食・食缶形式 ・給食センター方式の導入	給食を選択した生徒に、一度冷やしたランチボックス形式の給食を、市外の民間調理施設から配送	全生徒に、食缶形式の温かい給食を、市内の給食センターから配送
【2】 給食センターを 災害対応や地域貢献に活用	市外の民間調理施設のため、災害対応や食の提供等の地域貢献は難しい	市内の給食センターのため、災害対応や地域への食の提供等の地域貢献が可能
【3】 給食センターを 市内に分散化して整備	市外2箇所の民間調理施設のため、配送に時間がかかる。また地域貢献に寄与できない。	市内3箇所に給食センターが分散しているため、短時間での配送が可能。また地域貢献にも寄与できる。

【今後のスケジュール】

- (1) 基本方針を踏まえ、2021年度末までに「(仮称)町田市中学校給食センター整備基本計画」を策定します。
- (2) 1箇所目の給食センターについては、2024年度の稼働を目指します。